

科 目 名		学年	
情報処理基礎I: Basic Information Processing I		1M	
教 員 名 徳永 敦士: TOKUNAGA Atsushi			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	
1	90分×15回	履 修	
授 業 概 要		授 業 形 態	
パソコンや携帯電話などのモバイル機器が身近な存在になり、誰でも簡単に使用できる環境になっている。それらは便利さと同時に、セキュリティや著作権の問題点もはらんでいる。本授業では、パソコンの基本的な使用方法を学ぶとともに、インターネットのセキュリティやマナーについて説明する。また、Microsoft Office Wordの簡単な使用方法について学ぶ。		講義・後期	
学 修 単 位		—	
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1) パソコンの構成、使用方法を理解できる。 (2) セキュリティやマナーについて理解できる。 (3) 著作権を尊重する意識を身につけることができる。		①中間試験(20%)、②期末試験(30%)、③自学自習によるレポート(50%)によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B) JABEE基準1(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	パソコンの使用 方法	パソコンのログイン方法。 簡単な使い方。 電子メールの使い方。
	第2	コンピューター アーキテクチャ	パソコンの構成について説明する。 ハードウェアとソフトウェアについて学ぶ。
	第3	コンピューター アーキテクチャ	五大装置の説明。 デジタルとアナログについて。 2進数と10進数について。
	第4	コンピューター アーキテクチャ	CPUについて説明する。
	第5	コンピューター アーキテクチャ	記憶装置について説明する。
	第6	コンピューター アーキテクチャ	出力装置について説明する。 画素数について。
	第7	コンピューター アーキテクチャ	OSなど、ソフトウェアについて説明する。
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
	第9	インターネット コンピューター ウイルス	インターネットの仕組みについて説明する。 コンピューターウイルスの被害について学び、防 止策について考える。
	第10	情報リテラシー	インターネット社会における問題点について考え る。
	第11	情報リテラシー	著作権及び肖像権について学び、著作権を尊重 する意識を身につける。 ファイル共有ソフトについて考える。
	第12	情報リテラシー	携帯電話の使い方、ワンクリック詐欺や個人情 報の取扱など、インターネットを利用する上で気 をつけるべきことについて考える。
	第13	Wordの使用 方法	文字の入力方法について説明する。 タイピングの練習を行う。
	第14	Wordの演習	タイピングの練習を行う。 インターネット社会におけるモラルについて自分 の意見をまとめる。
第15	まとめ	この授業の内容について総括する。	
自学自習の内容		授業後にレポートを課し、各授業項目について理解を深 める。	
関連科目			
教科書		なし(必要な資料を随時配布する。)	
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			